

「国際生物多様性の日」に国内外の生産拠点で20,441本を植樹

横浜ゴム（株）（社長：南雲忠信）は5月22日の「国際生物多様性の日」に合わせて国内外8生産拠点で植樹活動を実施した。5月21日と22日の2日間で従業員や地域住民の方々など合計2,064名が参加し、20,441本を植樹した。

今回の植樹活動は、国際連合（国連）が定めた国際生物多様性の日（毎年5月22日）に世界各地で一斉に植樹などを行う「グリーンウェイブ」に賛同したもの。日本では環境省が中心となって幅広く参加を呼びかけている。横浜ゴムは平塚製造所、三重、三島、新城、尾道、茨城工場、ヨコハマタイヤマニュファクチャリング（タイ）、YHアメリカで植樹を行ったほか、その他の生産拠点はすでに植樹した樹木の手入れを実施。国内外の全生産拠点で「グリーンウェイブ」に参加した。

横浜ゴムは2007年から地域の安全や環境、生物多様性を守るための植樹活動として「YOKOHAMA千年の杜」プロジェクトを実施している。宮脇昭氏（植物生態学者／横浜国立大学名誉教授）の指導の下、潜在自然植生に則った植樹活動を進め、国内外の全生産拠点に約50万本を植樹する計画を推進中。植樹のみにとどまらず、木を植えることの効果や生態系への影響を把握するため、CO₂吸収固定量のモニタリングと野鳥観察も行っている。また、従業員が育てた苗木を行政や学校、団体、他の企業などに提供することにより、広く社会に対し地球環境保全の重要性を訴えている。



植樹を行う横浜ゴム従業員と地域住民の方々。左は新城工場、右はYHアメリカ。



横浜ゴムでは、横浜ゴムグループで取り組む多様な環境貢献活動を「ecoMOTION」と名付けています。

このリリースに関するお問い合わせ先

横浜ゴム（株） 広報部

TEL : 03-5400-4531 FAX : 03-5400-4570

横浜ゴム株式会社 広報部 広報・IRグループ
〒105-8685 東京都港区新橋5丁目36番11号 TEL:(03) 5400-4531 FAX:(03) 5400-4570

THE YOKOHAMA RUBBER CO., LTD. CORPORATE COMMUNICATIONS DEPT.
36-11, Shimbashi 5-chome, Minato-ku, Tokyo 105-8685, Japan Telephone: 81-3-5400-4531 Facsimile: 81-3-5400-4570